

▼ 9月5日  
**健康に生きることの素晴らしさを学ぶ**



松前総合文化センターで敬老会が開催され、大勢の人が集まりました。まずは、さゆみ・たまこによる漫才で大いに盛り上がった会場。そのあと、宮川花子さんが「愛をみつけた」と題し、自身の半生を元気いっぱい語りかけました。脳出血で入院した夫の大助さんへの想いを語る花子さんから、家族のきずなや、健康に生きることの素晴らしさを、皆さん感じていたようでした。

▼ 8月27日  
**松前消防署が救助技術全国大会に出場**



京都市消防活動総合センターで、第39回全国消防救助技術大会が実施され、松前消防署チームが、四国地区の厳しい選考会を勝ち抜き出場しました。

全国のレスキュー隊員が救助のスピードと技術を競うこの大会。松前消防署からは、「ロープブリッジ救出」と「溺者救助」の2つの種目に2チームが出場し、優秀な成績を修めました。

▼ 8月24日  
**水辺に触れてみよう**



まちづくり塾とNPO法人えことのはの協力で、小学生のための自然観察会が福德泉公園で行われました。参加者は泉に入ってザリガニやエビなどを捕獲し、神崎集会所で観察して地域の自然環境に理解を深めました。北伊予小学校6年の神野佑輔くんは「いつもは捕ることができないけど、今日はいろいろな生物が捕れて面白かった。特にザリガニが捕れてうれしかった」と話していました。

▼ 8月12日  
**盆の伝統行事 大念仏**



神崎の禅正軒で、大念仏が行われました。大念仏は、毎年8月12日に行われる盆の伝統行事です。

日が暮れ、燈明が灯された墓地に集まった大勢の参拝者は、御詠歌が終わると、手に持った団扇を高く振り上げながら念仏を繰り返しました。念仏後は、燈明も次第に消え、過ぎる夏を惜しむ虫の声が聞こえ、静かな夜が戻っていました。

▼ 9月8日  
**戦没者を追悼**



松前総合文化センターで、平成22年度戦没者合同慰霊祭が行われました。

戦後65年の節目を迎えた今年、町内関係団体の代表や遺族の皆さんなど、大勢の人が参加しました。

参加者は、過ぎし大戦で平和のために犠牲となられた皆さんに追悼の意を述べ、これからも自由と平和を守ることを改めて誓いました。

▼ 8月28日・29日  
**24時間熱戦を展開**



松前町体育協会主催の24時間チャリティースポーツカーニバルMASAKIが、松前公園で開催されました。これは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して毎年行われているもの。ジョギングやソフトボールなど合計15種目が行われ、子どもからお年寄りまで約1,400人がスポーツやゲームを楽しみました。集まった募金171,864円は24時間テレビへ寄附されました。

▼ 8月25日  
**大間灯ろう流し**



盂蘭盆の夜、有明泉で灯ろう流しが行われました。色とりどりの紙に絵が描かれているのは、大間地区のシルバークラブと愛護部の手作りで、前日各戸に配布されていたものです。家族が元気に過ごせるようにと願いを込めて有明橋に持ち寄られた灯ろうは、一つ一つ火が灯され、川面に浮かべられました。参加者は、幻想的な風景を見つめながら、過ぎゆく夏を惜しんでいました。

▼ 8月21日  
**松前中学校吹奏楽部が四国大会で金賞**



鳴門市文化会館ホールで行われた「第58回全日本吹奏楽コンクール四国大会中学校B部門」で、松前中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。7月に行われた県大会では49校中最高点で県代表になり、この日を迎えました。一昨年はA部門で四国大会に出場していて、3年生を中心とした今の部員も熱心に練習を行い、その伝統を引き継ぐことができました。